

デビュー古里に感謝

松山でライブ えひめ憲一さん

約500人を前にデビュー曲「故郷がいちばん」を熱唱するえひめさん



古里が大好きです。感謝の気持ちを忘れ

ません。松山市出身の演歌歌手えひめ憲一（本名・小倉憲一）さん(32)が18日、念願のデビューを果たした。

市役所前広場で記念ライブがあり、約500人の市民やファンを前に、デビュー曲「故郷（ふるさと）がいちばん」とご当地ソング「おいでんか松山へ」を披露した。

えひめさんは愛媛大農学部2年生だった1999年11月、作曲家

船村徹氏に入門。栃木県で住み込みの内弟子、付き人として13年間指導を受けた。

ステージでは、えひめさんが感無量の表情で「2歳7カ月から歌い始め、歌手になりたいと言ってきた。なんとか夢がかないました。皆さまのおかげです」と声を振り絞ると「憲ちゃんおめでとう」「紅白目指せ」と拍手や歓声に包まれた。

予定の2曲を歌い終えると、会場からアンコールの声上がり、ふたたび「おいでんか松山へ」を熱唱。大盛り上がりでキャンペーンを終えた。

えひめさんは「古里で受けたご恩を忘れず、歌を通じて全国に愛媛・松山をPRしたい」と話していた。

（清家俊生）